



人事案件

人権擁護委員が 決まりました

人権擁護委員の任期満了に伴い、引き続き次の方を推薦することについて全会一致で同意しました。

大里 茂晴 氏



意見書

人権が尊重される 社会の実現を

女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書

国連女性差別撤廃条約は、現在189カ国が締約し、さらに条約の実効性を高めるため

に、1999年に採択された女性差別撤廃条約選択議定書は112カ国が批准している。

選択議定書は女性の権利保障の「国際基準」として、条約の実効性確保に重要な役割を果たしている。日本が選択議定書を批准すれば、裁判所が女性差別撤廃条約を裁判に適用するようになり、ジェンダーの不平等をなくすための効力が一層強まることが期待される。

国会・政府は女性たちの声を真摯に受け止め男女平等を実現し、全ての人の人権が尊重される社会を実現するために、日本における司法制度や立法政策の課題が解決される環境整備を進めると共に、選択議定書を早急に批准されることを強く要望する。

※全会一致・可決

安心・安全な暮らしを

新たな過疎対策法の 制定に関する意見書

過疎地域が、そこに住み続ける住民にとって安心・安全に暮らせる地域として健全に維持させるよう、新たな過疎対策を充実・強化し、住民の生活を支えるため次のことを強く求める。

- 一 新たな過疎対策法を制定すること。
- 二 過疎地域において特に深刻な人口減少と高齢化に対処するため、産業振興、雇用拡大、子育て支援等の施策の推進をすること。
- 三 住民が安心・安全にくらせるよう、医療の確保、公共交通の確保、教育環境の整備等、広域的な事業による対応も含めて推進す

ること。
四 過疎地域においても、高度通信等社会の恩恵を享受できるように、情報通信基盤の整備や財政支援措置を講ずること。

※全会一致・可決



議会運営委員会

2月14日

3月定例会の日程等について

2月25日

新型コロナウイルス対策について

3月2日

新型コロナウイルスへの対応について

3月3日

会期日程の変更について

3月9日

定例会最終日の日程等について

委員会の動き

広報編集特別委員会

3月4日

議会広報編集

4月2日

議会広報編集

4月10日

議会広報編集

4月15日

議会広報編集